

NEC

ETOSJX for UNICODE V5.0

UL0103-50A
UL0103-H50A
UL0103-J50A

セットアップカード

ごあいさつ

このたびは、ETOSJX for UNICODE V5.0(以下「ETOSJX」と省略します)をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書は、お買い上げいただいたソフトウェアのセットアップおよびアンインストールの方法を中心に構成されています。ETOSJXをお使いになる前に、必ずお読み下さい。

なお、システムを構築するにあたってはETOSJXのマニュアルが必要となります。ETOSJXのマニュアルは、『ETOSJX for UNICODE V5.0』のパッケージに含まれるCD-ROMに格納されています。

本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

- Microsoft、Windows、Visual C++、Visual Studioは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- MultiWriterは、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
- PrintBridgeは、日本電気株式会社の登録商標です。
- その他、本書に登場する製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

目次

1章	ご利用になる前に.....	4
1.1.	注意事項.....	4
1.2.	ランタイムライブラリの登録.....	5
1.3.	アプリケーション毎に入力方式を設定する.....	6
1.4.	通常使うプリンターを固定する.....	7
2章	動作環境.....	8
3章	セットアップ.....	8
4章	アンインストール.....	8
5章	注意・制限事項.....	9

1章 ご利用になる前に

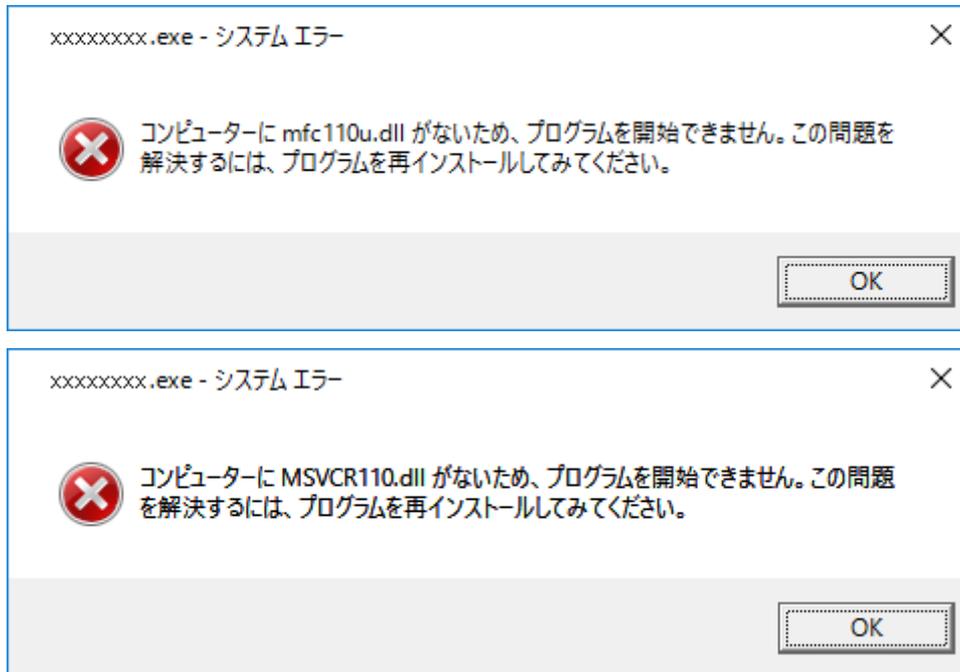
1.1. 注意事項

ETOSJXのご利用にあたっては、以下の点にご注意ください。

1. インストールを行う場合は、必ず**SETUP.EXE**を起動してください。
2. インストール機能の変更、修復は、**SETUP.EXE**を起動してください。コントロールパネルからの変更、修復はできません。
3. **ETOSJX** のソフトウェアが起動しない場合は、ランタイムライブラリをインストールしてください。
詳細は、「**1.2 ランタイムライブラリの登録**」を参照してください。
4. **Windows Server 2016/Windows 10**では、すべてのアプリケーションで**IME**の入力状態が共有されるため、**ETOSJX**で行った**IME**の入力状態変更が、他のアプリケーションにも影響します(その逆も同様です)。
ETOSJXによる**IME**の自動制御が不要な場合は、**ETOSJX-PG**のメニュー [拡張パラメータ] - [入力モード指定] で、「**IME制御**」チェックボックスのチェックを外してください。
なお、**Windows**の設定を変更することで、**Windows 7**以前と同様、アプリケーション毎に**IME**の入力状態を保持できるようになります。
設定方法は、「**1.3 アプリケーション毎に入力方式を設定する**」を参照してください。
5. プリンキング表示を行ったとき、文字枠が残る場合があります。
Windowsの以下のいずれかの設定を変更してください。
 - ① 「システムのプロパティ」の「詳細設定」タブで「パフォーマンス」の [設定] ボタンを押し、「パフォーマンスオプション」の「視覚効果」タブで「スクリーンフォントの縁を滑らかにする」チェックボックスのチェックをはずしてオフにする。
 - ② 「コントロールパネル」 - 「デスクトップのカスタマイズ」 - 「フォント」の「ClearTypeテキストの調整」を選択し、「ClearTypeテキストチューナー」で「ClearTypeを有効にする」チェックボックスのチェックをはずしてオフにする。
6. **Windows 10**では、「通常使うプリンター」が自動的に最後に使用したプリンタに変更される場合があります。**Windows**の設定を変更することにより、「通常使うプリンター」を固定にすることが可能ですので、指定して印刷を行う場合は、設定を変更してください。設定方法は、「**1.4 通常使うプリンターを固定する**」を参照してください。

1.2. ランタイムライブラリの登録

ETOSJXのソフトウェアを起動した際、以下のようなエラーメッセージが表示される場合があります。



これらのエラーメッセージが表示される場合は、以下のランタイムライブラリをインストールしてください。

Visual C++ Redistributable for Visual Studio 2012

※32bit用(x86)のランタイムライブラリをインストールしてください。

※ランタイムライブラリは、ETOSJX CD-ROMに格納されています

(¥vcredist_x86¥vcredist_x86.exe)。

または、Microsoft社のホームページから最新版をダウンロードしてください。

1.3. アプリケーション毎に入力方式を設定する

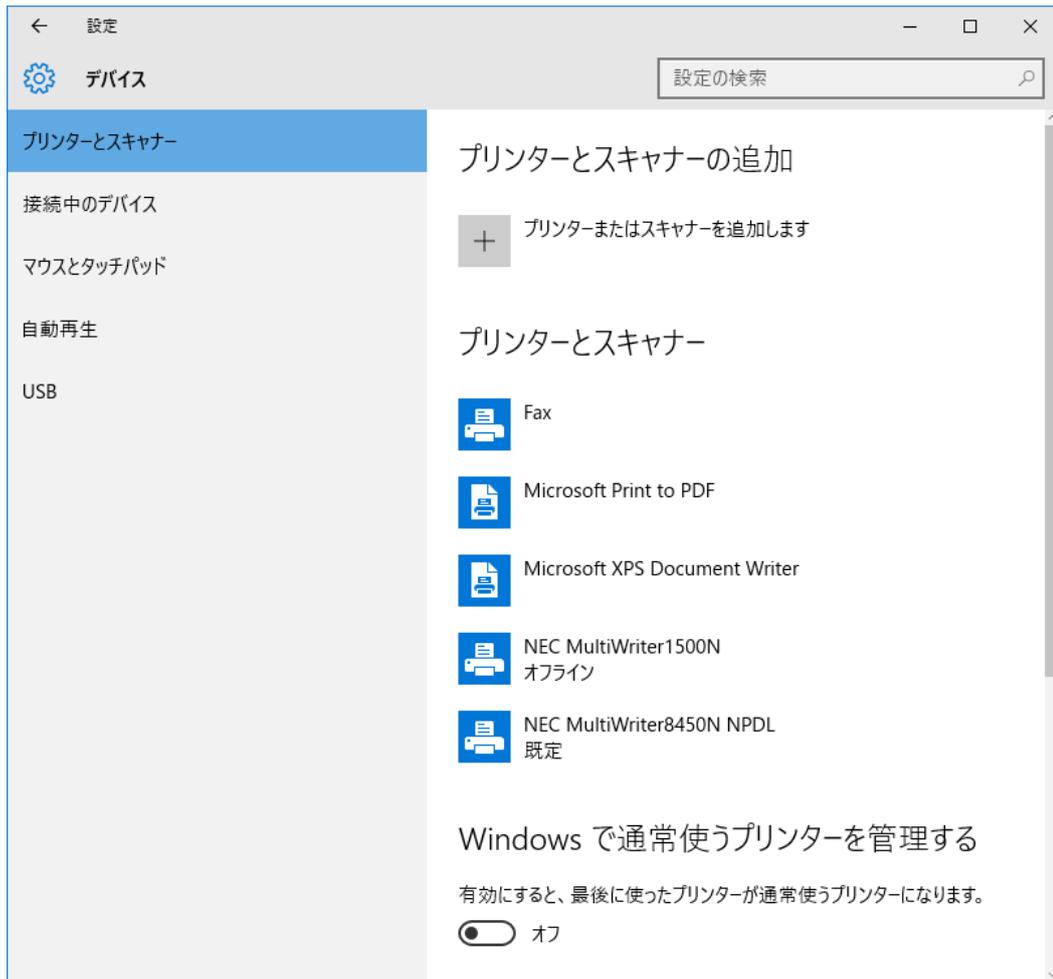
- (1) コントロールパネルを開き、「時計、言語、および地域」－「言語」を選択する。
- (2) 左側メニューから「詳細設定」を選択する。
- (3) 「入力方式の切り替え」の「アプリウィンドウごとに異なる入力方式を設定する」チェックボックスにチェックを入れてオンにする。



- (4) [保存] ボタンを押して設定を完了する。

1.4. 通常使うプリンターを固定する

- (1) スタートメニューから「設定」を選択して設定画面を開く。
- (2) 「デバイス」を選択する。
- (3) 左側メニュー「プリンターとスキャナー」を選択する。
- (4) 「Windows で通常使うプリンターを管理する」を「オフ」に設定する。



2章 動作環境

ETOSJXをセットアップするには、以下の環境が必要です。詳細については、ETOSJX CD-ROMの「ETOSJX for UNICODE V5.0 導入ガイド」を参照してください。

OS	Windows 10 Enterprise 2016 LTSB Windows Server 2016 Standard
メモリ	12MB
ハードディスク	15MB

※上記以外のOS上での動作は保証しておりません。

※Windows Server 2016 Server Core、Nano ServerおよびWindows Server Failover Clustering (WSFC) 上での動作は保証しておりません。

※Windows 10 タブレットモードでの動作は保証しておりません。

※仮想環境、ターミナルサービスクライアント環境、リモートデスクトップ等での動作は保証しておりません。

3章 セットアップ

ETOSJXのソフトウェアのセットアップ方法については、ETOSJX CD-ROMの「ETOSJX for UNICODE V5.0 導入ガイド」を参照してください。

4章 アンインストール

ETOSJXのソフトウェアのアンインストール方法については、ETOSJX CD-ROMの「ETOSJX for UNICODE V5.0 導入ガイド」を参照してください。

5章 注意・制限事項

ETOSJXの注意・制限事項については、ETOSJX CD-ROMの「ETOSJX for UNICODE V5.0 導入ガイド」も参照してください。

1. ETOSJXを使用するには、「FontAvenue UniAssist JIPS文字セット V3.3」が必要です。
「FontAvenue UniAssist JIPS文字セット V3.3」は、x86用をインストールしてください。
2. N5200系コード印刷の障害通知機能は未サポートです。